

中野父母連 ニュース



第9号

2002. 9.22 発行

中野区保育園父母連絡会

発行

電子メール
URL

nhoiku@eqg.org
http://nhoiku.eqg.org/

椎名町ひまわり保育園見学してきました

椎名町ひまわり保育園見学会報告

篠崎 純子

椎名町ひまわり保育園見学会では、妊婦さん、育児休業中のお母さん、無認可にあずけている方、公立にあずけている方と、バラエティに富んだ参加者の方々がありません。ありがとうございました。

上鷲宮はそこだけばかりと保育園のない地域で、丸山・西鷲・白鷲、聖ピオ、はては野方北にあずけている方もあり(今回来れなかった方で、大和の方もいらつしやいました)、みなさんがどんなに不便を強いられ、子どもたちを上鷲宮の地域で育めなかつたかを痛感しました。「上鷲で働いて育てるのは、新青梅街道を越えてバギーや自転車をもつてくのが当たり前だった」というお母さんの声には、胸痛むものがありました。

椎名町ひまわり保育園は私立保育園の業界ではとても有名です。産婦人科のお医者さんが、働く女性の母性と子どももの保護に心砕いて作った「長橋ベビーセンター」を前身として、「働くお母さんを懸命に支えずして、どうしてよい子育てをしてもらえるか」の精神が脈々と息づいています。姉妹園の「しいのみ保育園」は、80年代のベビーホテル問題(産休明け保育園が足りずにベビーホテルで赤ちゃんがたくさん死亡した社会問題：今だにこの問題が残っています)に胸痛め、認可園としては初めて、夜10時までの夜間保育をスタートさせたのです。池袋の繁華な街の片隅で、夜遅くまで地道に働くお母さんたちを支えてきた実績には、同じ保

育士である私も、頭の下がる思いです。

そんな保育園の生み出す「雰囲気」を、見学会の参加者の皆さんも充分に感じて下さったのではないのでしょうか? 園庭もない狭い敷地を、「最大限子どもに生かす」建物の作り方、くつろぎと穏やかさのある乳児室、生き生きとした目の幼児た

ち、国産の旬の食材・温かみのある陶器の食器、「ホントに心からの笑顔で働いている保育士さんを見て見た」と言った参加者の方もありました。

やはり百聞は一見にしかず、どんな保育園も「その保育を見る」ことが大事と感じました。

目次

椎名町ひまわり保育園見学会報告	1
隅田区立あおやぎ保育園父母会の学習	3
保育園を考える親の会の勉強会	3
全国保育園団体合同研究集会報告	3
幹事会からのお知らせ	5
今後の保育行政に関する質問書	5
区へお礼状出しました	6
7月全体会報告	8
今後の全体会予定	8
民営化対策部懇談会	8
民営化対象園の動き	9
保育園であったよこんなこと	10
メーリングリストの話題から	11
中野区のホームページの中の保育園関連情報	11
父母会紹介 大和東保育園	12

参加された方の感想

7月5日の椎名町ひまわり保育園見学会に参加しました。

いつもは、朝9時頃子どもを預けるのですが、この日は、西武池袋線富士見台の駅8時45分集合・という事で、大丈夫かなあと、心配しつつも園長先生にチラシを見せ、早く子どもを預ける事を依頼すると、快く「わかりました」といつてくれ、安心したのはその日だけ。当日は、家を8時10分に出るつもりが、8時20分になり・・・遅刻してしまい、みなさんに御迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

園について、先生方の暖かい歓迎をうけました。

園舎は、もともとベビーを対象に作られたものということで、園庭は狭く、園舎も細長い感じでしたが、窓は採光を考えると大きく取られ、あちこちに工夫がされている事を感じました。子どもたちの表情が穏やかで、見たことのない大勢(?)の見学のおとなたちにものおじしないうちどもを感じ、「ああ、ココでは子どもは安心してすごせているんだな」と、感じました。見学者の中に、3歳くらいの子どもを連れての参加の方がいたので、さすがその子が、一緒に遊ぶ事を快く受け入れ子どもが満足するまで、預かってくださったのは印象的でした。

上鷲の新しい園は「とちのき保育園」として誕生するそうです。近隣の方と、数回の話し合いを持った中、「子どもたちの声がかからないように」「うちのところは、防音壁をたてて」など、いろいろと声が上がって、対応できるだけの事はやっていきたいと、地下にホールを作ることを考えられているようです。

豊島区は、私立保育園の子どもの助成が子ども一人当たりの補助が2万円、月である。にもかかわらず中野区は少ない補助しかない事。5歳児の2泊3日の合宿(保護者なし)を、区の補助があるのでは今は保護者負担なく行っているが、中野区は補助があるか・・・アレルギー対応の食費の補助が豊島区はあるが、中野区にはあるのか・・・等の逆に質問もされました。

とちのき保育園には、

現在働いている職員の中から行きたい方が5名、退職した方の中から1名計6名のベテランの先生が行く事が決まっているとのこと。今の園ではベテランの保育士が、各クラスの1人はいておかあさんがたの子育ての相談にのり、協力して子育てを実践している事、今度できる園には、今のような補助がない分同じような保育ができるだろうか、との心配はありながら、「ベテランの先生方は、お金がないならならに工夫してやってくれる」自信を見ました。(やりたい保育を工夫してやってきた、子どものためによいと思う事はどんな事をもやる本当のベテラン・・・という感じがしました。)

いろいろありますが、まだできていない「とちのき保育園」に大きな期待と安心をもって帰ってくる事ができたと思

います。

また、「いつでもいらしてください」という園長先生の言葉に甘えて是非1度、機会があればいつかみていただきたいと思っています。「目からうろこ」のことも多いかと思

(横塚)

保育園の様子を実際に見ることで保育士の方々の保育に対する考え方や姿勢が良くわかりました。今回の保育園のように信頼できる園がこれから増えていくといいな、と思いました。

(Oさん)

一言の感想としては「百聞は一見にしかず」です。

また、自分はいかに井の中の蛙だったのかも実感させられました。それは、他の保育園を知らないと言つこともありますが、説明していただいで、先生方とお話をし

て、うちの園の状況と比較しようとしても自分の娘の通っている保育園の事で知らないことやわからないことが沢山ありました。自分自身、もう少し疑問を持つようにしたいといけないなあ・・・と感じています。

ひまわり保育園の先生方のお話を聞いて・・・正直、感心させらる事の連続でした。自分の子供に対して私がしないような事まで気をつけて気にして親の事まで考えられて・・・

井の中の蛙としてはぜひ桜ヶ丘保育園も見学したいのですが、区が主催している今週の見学会には都合が悪く参加できません。もし9月の見学会の定員に空きがあれば参加したいなと思います。(Iさん)

隅田区立あおやぎ保育園父母会の の学習会

篠崎 純子

7月8日に墨田区立あおやぎ保育園父母会の学習会「民営化・民間委託を考える」に呼ばれ、行って来ました。(この保育園も平成16年民間委託対象にされたのです)

野方北保育園のお母さんも1人同行して下さって、民営化される保育園父母の気持ちと、こ

との次第を切々と話され、あおやぎ保育園の父母のかたも熱心に耳を傾けて下さいました。

私からは、民営化対象園だけの問題にしないこと、自治体職員の方々の良心を信じて訴え続ける事、全ての議会会派の方々にお願ひする事、国と都が推進する強力な流れなので、疲れないように・粘り強く取り組む事をお話しました。

学習会の間の保育を、

保育園を考える親の会の勉強会

山本 撰

7月13日に行われた保育園を考える親の会の「公立保育園の民間委託・民営化を考える」勉強会に参加してきました。

勉強会では横塚さんから中野区の民営化のこれまでの流れと会としての動きを紹介。高木さんが民営化対象園親としてどう対応してきたかを話しました。その後すでに民営化された園が動きはじめている八千代市の方から、民営化までの取り組みとその後のお話を聞き、保育を考える親の会代表の普光院さんから相模原の審議会に参加したときのお話(総会のとくに話してくださいました事をもう少し簡略に)でした。

その後1時間程度の質疑応答。

学習会のあとで夕食を頂きながら、父母会役員さん、組合の先生と懇談しました。「サービス」「ニーズ」「利便性」・・・保育園のコンビニ化がすすむけれど、やっぱり「本当に子どもを大事にする精神」のような、形にならないけれど感じられるものは、必ず共感をひるげる。そんな保育園こそが選ばれ生き残っていくような、大人の賢さを磨いているのが、この取り組みかもしれない。そんな話のできた、充実感一杯の夜でした。

まず、民営化が中止された事例である、調布市のかねこ保育園の報告がされました。報告してくださいましたのは調布市の保育士さんです。いろいろな運動をやったが、決め手は「一時保育、休日保育、、、」を労使間交渉で労組がみずから受け手行くとしたことだったとの事です。ただ、その結果として、そのための補充人員が無い中でやっているのが職員の負担がどんどん増大していくことが問題とのことでした。

隅田区から来た方から、どのタイミングで「白紙撤回」から「条件闘争」に移行していけばいいのかとの質問があり、横塚さん、高木さん、八千代の方がそれぞれ考えを述べていました。八千代の方が「メリットが見

えたとき」というのはとても感心しました。

多摩市の方からは、中野の「提言」はすごい！とお誉めの言葉をいただきました。

それと、今はまだいい法人が残っているからいいがいつまでもそうという法人がいるわけではない。そのうち受託法人がいなくなるか、馬鹿でかいチェーン化した保育園

だけになっていくのではないかとのことです。確かにそうですね。いい法人は無尽蔵にいるわけではないですもんね。

終了後、何人かの方たちと飲みに行つて、父母連の事、民営化の事、保育の事、保育士の事、いろくな話をしてるうちに気がついたらお尻に根つこがはえていて11時でした。

全国保育園団体合同研究会報告

「公立保育所の民営化問題と今後のあり方を考える A」分科会

高木 政枝

8月2日(金)3日(土)4日(日)に静岡で行われた、第34回全国保育園団体合同研究会に参加してきました。

私は「公立保育所の民営化問題と今後のあり方を考える A」分科会に参加。

浜松市の民営化、東京の認証保育所A型、瀬戸市の統廃合・民間委託、長崎市の民間移譲、大東市の民営化、以上5本の提案の他、高石市、川崎市、八千代市、西宮市、四日市市、奈良市、多治見市、東京として中野の

「事業者選定の提言」に
ついの報告がなされまし
た。

合研の性質上、参加者
の多くは保育士・保育園
職員なのですが、全国的
に吹き荒れる「民営化・
民間委託」嵐を受け、保
護者の発言が昨年よりも
多く見られました。主な
発言としては

保護者の関心の低さ、
保護者同士の連動の難
しさ。
保護者と保育士の連動
の難しさ。
公立と私立の連動の難
しさ。

「保育園・幼稚園の父母の会活 動」分科会

8月2・3・4・日に、
静岡で行われた全国保育
団体合同研究集会の、
「父母会活動」の分科会
に参加しました。北海道
から福岡まで、公立・私

保育ニーズの多様化
(病時保育、夜間・24時
間保育、休日保育な
ど)

分科会世話人の垣内国
光氏(明星大学)は、
当事者(保護者、保育
士)が声を挙げる。
行政の説明責任を果た
させる。

学習・調査をする。・
知識を得、事実を知
る。

協同・共感関係を築
く。・・・保育士と保
護者。

以上4点を運動のポイン
トとして挙げています。

篠崎 純子

立・無認可保育所の父母
会の人々が集まり、日頃
の悩みや成果を話し合い
ました。

午前中は公式レポートと

して、

「第7回全国父母の会
交流会in兵庫」を開
催して「兵庫県保育
所運動連絡会 三谷さ
んから

「認可保育園に移行し
て変わっていった父母
会の役割」 神奈川
鳩の森愛の詩保育園
甲斐さん・原さんから

「愛知県小規模保育所
連絡会父母会部 20
01年度の活動」 愛
知小規模連 柴田さん
から

「保育園のおひさまを
守る保護者会活動」
愛知・中保育園 宝田
さんから
の4本のレポートが報告
されました。

特に「おひさまを守る

保護者会活動のレポー
ト」はあまりの父母の懸
念さに、施工業者が撤退
してしまい、保育課も動
かざるをえなくなった、
という痛快なもので、中

野でも数年前にあったマ
ンション建設問題の時
に、このお話を聴けてた
らなあ、と思いました。

また、鳩の森・愛の詩
保育園からは、「無認可
の時代は、『ここに助け

てもらわないと、仕事で
きない』とわざわざ無認
可を選択してきた父母の
父母会だったのが、認可
になると『行政に振り分
けられて』入ってくる父
母になり、父母会活動が
停滞しそうになったが、
新しい層の父母の人たち
と『保育園って何だろ
う、父母会って何だろ
う』という話し合いを繰
り返して、みなの出番が
ある父母会活動に心がけ
て克服していった」とい
う話がありました。

マンション建設による
保育園の日照権問題は、
毎年起きているというこ
とですし、「父母会活動
の停滞」も、公立・私立

を問わず大きな問題に
なっているので、今後も
こういう研究集会に参
加することや、持ち帰っ
たレポートについて話
し合っていくことも、大
事ではないでしょうか。

午後はまさに、それぞ
れの参加者の悩みにそ
れぞれが答える、それぞ
れの参加者のやってき
た事をそれぞれが「それ
はすごい!」「次はこう
したら・・・」と認め合
い、アドバイスしあい、
でした。

印象に残っているのは
横浜中華街の保育園
の話。

父母会活動に、必ず子
どもも喜び大人も助か
る「食べ物」を入れてい
る。父母で肉まんを上手
に作る人がおり(それを
商売にしているからだけ
ど)、「中華保育園で企画
があると、肉まんが食べ

られる」と有名。必ずリ
ピーター参加者が来る。
そうそう、話題になっ
たものに、「二技術を、父
母会活動にどう生かす
か」というのもありまし
た。どこでも、パソコン

を持っていない人、使い
こなせない人との情報較
差が問題になってるよう
で、「ホームページも
メールングリストも、今
のところ情報発信、連絡
事項にとどめている」
「情報網から外れる人が
出ないような工夫をする
というのは、技術を使う
上での大前提」「すごく
働かされて、みなが集ま
りにくいから有効な技術
だけれど、集まりにくい
からこそ集まって顔をみ
て声を聴いて話すのを大
事にしてる」など、参
考になりました。

その夜は、静岡市内の
居酒屋で、みなのお盛り
上がり。父母連ニュース
はまたたく間になくなり

ました。そして2月には、群馬にて『第8回全国父母の交流会』が開かれるそうです。

詳細がわかり次第、皆

幹事会からのお知らせ

総会にて、今年度の「中野保育園父母連絡会」の活動や、会則の決定をいたしました。しかし、「中野父母連」として1年目の現在、この会にとってよい役員体制・会議の方法を模索しているところでありますので、会則にない役員形態・会議のやり方を行っている部分があります。ご了承ください。

今回、会則にはありませんが、(実は、副会長も会則にない)会長・副会長の役割分担ができていない事もあり、会長、副会長で3役会をさせていただきました。この会議が、定期的に行なわれたほうがよいか、必要なときか、それも模索状態・・・という感じです。それをしていく事によって、この会の透明性がなくなるとか、1部の人間が決めていく会にはならないと思いますが、皆さんの意見を聞きながら、やっていきたいと思ひます。

さんにお伝えし、中野からも色々な保育園の父母の方たちが参加できるといいなあ、と思つていま

今後の保育行政に関する質問書

8月27日に保育課に行つて以下の質問書を提出して頂きました。

中野区長 殿
地域センター 部長 殿
保育課長 殿

先日は、お忙しい中「中野区保育園父母連絡会」(旧:中野の保育を考える会)と早速の懇談をおもちいただきありがとうございました。うございました。さて、新区長殿のもと、保育行政についても新たなご検討が始まっていることと存じますが、従来と違った新たな方向な どありましたら、お知らせください。こと以下に点については、「中野区保育園父母連絡会」が、今後どのように保育行政に関われるかを考えるため、改めておたずねしておきたい件ですので、ぜひご回答い

ただけますよう、お願い致します。

1.「公立保育園民営化について、全保育園保護者への説明会を求め、件について経過)」

・2001年8月28日付、当会より保育課宛に上記申し入れ

・10月7日付、当会より保育課長宛対話集の申し入れ

・10月28・31日「区立保育園の民営化に関する説明会」開催

・11月5日付、当会より区長・部長・保育課長宛「説明会に関する要望書」

以上の経過をたどり、11月5日付の当会よりの文書にもありますように、保育課長殿より「説明会の議事録を配布する」とをはじめとしたお約束がありました

が、議事録の配布も当会文書へのお返事もありませんので、あらためてご回答ください。

2.区立保育園の民営化に、父母・住民の声の反映を求める「件について

上記の件につきまして、中野区議会で慎重にご審議いただき、不採択となりましたが、当会より重ねて、「この ような、重大な案件については、既存の審議会なり、検討委員会などで、住民参加の議論のプロセスを経るのが、常識的な手続き」「法人の選定委員に、最低限学識経験者を入れるべき。父母・住民の代表を加える自治体もある」などを、主張してきました。議会の審議の中にも、父母・住民の声を反映させる努力を、何らかの形で求める「意見もありました。これらをふまえ、

・5カ年計画の、残り3園の民営化に際して、審議会・検討委員会などの設置はあるかどうか

・5カ年計画の、残り3園の民営化に際して、法人選定委員の構成や法人選定の方法は、従来どおりかどうか

・5カ年計画の、残り3園の民営化に際して、「3園一括応募・選考」との見方があるが、どのような方針か

以上、おたずね致します。

3.5カ年計画以降について

5カ年計画以降の「区立保育園の(企業参入も含む)完全民営化」について、区より重ねて「決定ではない」「旨、ご回答いただいておりますが、この件に関して、本

来保育行政の中で決定されるまでの手続きがどのようなものであるのか、お示しく下さい。

なお、9月1日に、当会にて民営化に関する会合を予定しており、誠に勝手ながら、8月31日までに、会長塚美幸殿にご回答いただけると幸いです。ぜひ、よろしくお願ひ致します。

で、さっそく8月30日にお返事が頂けました。以下です。

中野区保育園父母連絡会 会長 横塚美幸 殿

地域センター部 保育課長 榎本良男

今後の保育行政に関する質問書に対する回答について

標記の件について、下記のとおりの回答いたします。

記

1. 説明会議事録の配布について

説明会議事録については、全園に一部配布し、保護者の方がどなたでもご覧いただけると、備え付けとさせていただきます。別紙を参考までにお送りいたします。

2. 区立保育園の民営化に、父母・住民の声を反映させることについて

現在、行財政5か年計画に基づき、新設の上野宮保育園については、近隣説明会、工事説明会を経て、既に事業者が工事に入っております。また、野方北保育園については事業者も決定し、既に引き継ぎに向けて保護者、事業者(法人)、保

育園との具体的な話し合いに入っております。残り3園についても、事前に保護者説明会を開いたうえで、平成13年11月4日号の区報で公表し、より良い民営化に向けて、保護者の方々との話し合いの場を何回かもちました。今年度中に事業者を決定するスケジュールも既にお示ししています。

このような進捗状況にある中、改めて審議会或いは委員会に回る時期は既に過ぎていていると考えています。しかし、5か年計画以降の民営化については、平成15年度中に、民営化も含め、今後の保育のあり方を検討する際、幅広い区民さんかを得ていくことになっていきます。

なお、事業者の選定方法については従来通りですが、選定を同時期にするかどうかは、慎重に

検討中でまだ決定していません。

つてことなんです。1の説明会議事録について何人かの会員さんが保育園に問い合わせましたが、園長先生からは「わかりません」とか「まだ

区へお礼状出しました

会として保育園の空き状況が知りたいね。と幹事の間で話していた矢先に区がホームページに「中野区内認可保育園 募集人員」なるものを作って下さいました(http://www.city.nakano.tokyo.jp/2540/hoikuaki.html)。嬉しかったのでお礼状みたいなものを送りました。以下送った文章です。

こちらにはきていません」といった話ばかり。よくよく調べてもらったら、昨年の10月か11月に保育園に配布したそうですが時間がたちすぎてしまっているの園長先生もわからなくなっていました。

中野区地域センター部 保育課長 榎本 良男 様

日頃より中野区の保育行政にご尽力いただきありがとうございます。

このたび、中野区ホームページに「中野区内認可保育園 募集人員」のページを設置して頂いたこと非常にありがたく思っています。

これから保育園に子どもを入園させようとする親にとって非常に

大切で有益な情報が、保育課に届かなくても手軽に手に入れられるようになったことはとても良いことだと思います。大変なことだと思いますが、是非とも毎月の情報更新を期待しております。

ご存じのことと思いますが、お隣の杉並区でも同様の情報を公開しています。杉並区では公立園に限りますが、延長保育募集人員も公開しており、また、入所可能月例ごとに分けて表示されておりとてもわかりやすくなっています。中野区でも延長保育募集人員に加えて、産休明け保育募集(可能)人員も公開して下さると更に使い勝手のよいページになるのではと期待しております。ご一考頂ければ幸いです。

また、募集人員と共に年齢別待機児童数など

学習会について

人類が営々と500万年も続けてきた、一大事業子育て。そのほとんどの歳月は、「曾祖父の代も、祖父母の代も、父母の代も、子育て環境はみな同じ」でした。そんな状態が続く中で、「親はなくとも子は育つ」という言葉が出てきたのかもしれませんが、「祖父母の代と、父母の代と、パパママの代で、子育て環境が激変している」現代でも、「親はなくとも子は育つ」という言葉によりかかって、「子どもの育ち」について、あまり関心が払われていないように感じます。

親は「保育園にあずけられないと仕事ができない」ところから保育園との付き合いが始まります。でも、それと同時に、自分が見ていない間の子どもの育ちをどう保障していくのかという事まで考えないと、保育園と単に「預ける」「預かる」だけの関係に終わり、子どもの育ちに心くたく「子育ての主人公」でなくなってしまわないでしょうか。

今「規制緩和」の時流に乗って、様々な保育園が生まれつつある東京で、子育ての主人公である私たちが、「子どもなんて、テキトーに食わせて・寝かせて・遊ばせてれば、いつの間にか育つものさ」と考えるのか、「こんな生活と

遊びの中で育ててほしい」とはっきりイメージもって言えるのかで、私たち親が子ども達の「育ち」をどう保障できるのかが違ってくるのではないのでしょうか？

私たちは、そんな子育てを考えあう企画をシリーズでできないかと考えています。

まず、はじめに「育つってどういうこと？」、「いま親としてどうすればいいの？」という、みんながはじめにつきあたる疑問に答えるべく「親としてそだてるといふこと(仮題)」として、講師をあたっていきます。(11月頃講演の予定)

その他、

「子どもとの絆づくり 見える絆・見えない絆」

「おもちゃ屋さんのおもちゃの話」

「ホントにオトク?! 「早起き早寝」

「「ヒト」を「人間」にする、食べ物のはなし」

・・・などなど案は出ていますが、どんな話を聞きたいでしょうか？ ぜひ、ご意見を下さい。

も示していただけだと、現在保育園入園を考えている親のみならず区民みんなが区の保育行政に理解を深めるきっかけになると思っています。どうぞ年齢別待機児童数のホームページでの公開について、前向きにご検討くださるようお願い申し上げます。

なお、とても大切な情報だと思えますので、区のホームページから計算した年齢別募集人員合計と共に会のホームページからリンクさせていたいただきますのでよろしくお願い致します。

これからもこのような積極的な情報公開の取り組みに大いに期待しておりますのでよろしく申し上げます。

区のホームページには各園の募集人員しかのっていないなかったので、中野区全体の学齢別総募集人員を会のホームページに

掲載したかったのですが、それに関しては、著作権の問題と、数字に責任が持たないのでダメとのこと(残念)。また、延長保育・産明けの募集人員の件、待機児童のことなど、現在レイアウト全体を見直す話があるため、他区のホームページも参考に検討して下さるとの返事でした。

どの程度の頻度でページが更新されるのか少し心配していたのですが、順調に毎月更新されているようです。また、8月までは月の中ごろに更新されていたのですが、9月は初旬に更新されていました。徐々に早くなっているようです。

延長保育募集人員、産明け保育募集人員、待機児童数については、あいかわらず未掲載ですが早急に対処して下さるとありがたいなあと思います。

7月全体会報告(7月27日)

1、総会から今までの活動報告

・6月25日 田中区長と懇談(横塚・篠崎・飯塚)

・7月5日 椎名町ひまわり保育園見学会(篠崎・宮澤・横塚・他6名)
・7月8日 墨田区立あおやぎ保育園学習会(篠崎・谷本)
・7月13日 保育園を考

える親の会「公立保育園の民間委託・民営化を考える」(横塚・高木・山本)

・7月14日 幹事会

2、総会の反省

・幹事の承認を得ていなかった事へのお詫び。
・第7条1項の総会の成立、会則にのっとった運営を目指しているが、現状では会則に則

す事が出来ないの、この場でお詫びと承認をお願いする。

3、年間計画の確認

・日程、おおよその内容を予定し配布

4、会員の取り扱い、会費納入のルール

5、交流会、学習会について

・交流会から話題を拾っていきたいと思う。9月は「子どもの育ちについて」

6、自己紹介

・椎名町ひまわり職員(2名)・大和東(3名)・大和(2名)・打越(2名)・野方北(1名)・あけぼの(1名)・みなみ(2名)・野方(1名)・大和東OB(1名)計15名

・1時間程度近況報告
7、園でおきていること

・メールنگリストより「夏期共同保育・合同保育について」

8、ニュースの発送作業・役割分担

・協力の呼びかけ

9、その他

・合研のお誘い
・桜ヶ丘第一保育園見学会のコーディネート

民営化対策部懇談会

9月1日、民営化問題に絞って話し合いたい人々で集まりました。

民営化対象園の方を含む13人の方々と、民営化のことについて、改めて話すことができました。

まず「そもそも、ことの発端である中野の財政難。本当にお金はないのだろうか?」ということが話題になりましたが、やはりみな勉強不足。今後の課題となりました。

次に民営化対象園の状況について、わかる範囲で報告があり、「私立保育園のB経費」というのが話題になりました。

これは、「東京の子どもの受ける保育に格差があつてはならない」と公立保育園との人件費格差を埋めるために生まれた

募集のお知らせ
・都、社会福祉法人への人件費補助削減の見送りについて

募集のお知らせ

30数年前の制度が引き継がれている経費で、どの私立保育園も平均1000万から2000万を補助されており、保育士の離職率の歯止めとなっているものです。

ところが東京都が「平成15年以降の新設園にはB経費を出さない」としたため、中野の民営化園は全てこの補助金をもらえないことになってしまふのです。

「そのお金がないと、どうして保育士さんは仕事が続けにくいのか」という素朴な疑問から、保育士の仕事の中身や労働のきつさ、専門職にふさわしい賃金ベースでなく、不当に低い事などが話し合われました。

今回は、この経費について、「どんなお金の

か」を話し合うにとどまりましたが、これは大きな問題なので、今回は父母としてどう取り組むかを話し合う必要がありそうです。

5か年計画以降の保育行政については、保育課より「区民参加の中で」議論するという返事ももらっていたので、どういった「区民参加」が保障されていくのか、よく目を凝らして行きたいところです。

ほかには、「民営化対象園だけでなく、既存の公立や私立の保育園のあり方にも、注目していかなければ、保育園全体がよくならないのでは」という意見も出されました。

課題山積の民対部ですが、参加者の皆さんの熱気に押されながら、問題を整理していきたいと思ひます。次回は、区長さんをはじめ保育行政の方々の話し合いの前に、もう一度民営化に絞った会合を持ちたいと考えています。よろしくお願ひします。

今後の全体会予定

・9月22日

14時~17時 中野 ZERO 西館学習室 4

交流会を予定しています。おやつ等一品持ちよりで参加ください。

・10月27日 AM10:00 ~ 中野 ZERO 学習室 3

・11月17日 PM 2:00 ~ 中野 ZERO(予定)

を予定しています。不明な点はお近くの幹事または nhoiku@egg.org までお問い合わせください。

また、幹事会を

10月12日(土)PM2:00 ~ 中野 ZERO 学習室 A にて行います。興味のある方はふるってご参加ください

民営化対象園の動き

野方北保育園

7～10見学会7～17 説明会

1、桜ヶ丘第一保育園の見学会のようすを聞く。
保護者

・アットホーム、たくましい園児。

・保育士と園児が同じ給食をとる。(保育士の健康管理のため)

・保育中の薬、臨機応変に対応してくれている。

・全体に、すごく安心できた。行って良かった。

・幼児各保育室にトイレがある。生活に密着しており、保育士の負担も少ない。

・保育士の持つ雰囲気、先生というより近所のおばちゃん。母という感じ。

・保育士の声が聞こえず、見守っている。子どもが、自分の生活を担っていた。

・保育士
・緑の多い環境が素敵
・食事、アレルギーの子を作らない、除去食をしない方法、工夫をしている。

・園児が大切にされている、一人一人のリズムを尊重されている。

・壁に写真が貼られていて、親が保育中の様子をつかめる。

・保育士の声掛けが静か、一人一人に気を配っている。

・自分の保育の勉強になった。
・乳児
いろいろな経験をさせてい

る。

・離乳食も2階で調理、遊ぶ寝る食事のスペースが組み込まれ動線が良い。子どものペースを大事にしている。

・幼児

・縦割り保育、上の子の姿を見て下の子が成長していく感じ

・食事のセッティングも自主的に園児でやっている

・全体に今の野方北と理念が同じだと感じた。

2、資料配布「ご質問をうけて、ふとんは？運動会は？えんそくは？」

・シーツの件はできるだけこのままきつぎたい。保護者負担にならないよう、区と相談していく。

・中野区は、行政がシーツ負担もしているのは恵まれている。しかし私立園には補助をしていない。是非とも、現行の私立園も含め予算措置をして欲しい。

・前回、配布された議事録で、連絡ノートは個人のものではなくす様なことが書かれていたが、これも現状通りに継承していきたい。

3、質疑応答

・アレルギー食についてアレルギーにならない食事を提供。除去食は医師の診断書を要する。

・投薬について 依頼書を提出し、病院の処方箋のみ、回分預かる。

・自然食、食洗機、陶器食器の購入など 財政面、予算内

で出来ると思う。

・4月からの事を子どもにどう話すのか 移行期に入ってから、担任が園児に話し説明する。

・職員は？パートさんは継続して欲しい 桜ヶ丘から異動6名(園長含む) 新採用は経験者11名新卒4名計15名。

・パートさんは来ていただけなら継続したい。

・職員と保護者の顔合わせ引き継ぎ期間中からの顔合わせ等検討。

4、火事の報告
新園長 平成11年8月15日(日)の火災の報告

・夕刻、2才児保育室より発生。前日も使用されなかった部屋からの火災。ウインドクーラーの漏電といわれている。この件で、行政指導などのペナルティはなし。

《あけぼの保育園・9/7(土)》

まず、榎本課長より前回の説明会後、募集要項に対する意見、質問などが一切無かつたと報告。

その後、概要にそって説明があり、質疑応答

Q:概要に「3才以上の完全給食とあるが、3才未満は完全給食ではないのか？」

A:「これは3才以上は主食のみ持参させているなど完全給食でない保育園が実在しているのに対して、3才以上完全給食」という具合に表記されていると思

う。が、誤解を招く表記ではあるのでここは修正します」

Q:前回、給食の外部委託はさせないという文言を事業者との間で文書で交わすよう依頼をしたがどうなったのか？

A:法令の絡みでその文言を文書にするのはできない。Q:では、概要に盛り込むことは可能なら盛り込んで欲しい。

A:概要に盛り込むことは可能なので付け加えておく。

Q:園医は現在お世話になってる方を引き続きお願いしたいがそのあたりはどうなっているのか？

A:基本的にその地域に密着しているかた(今の園医)にお願いすると思う。まだ努力もする。他園事業者から「紹介してください」と言われているしその辺は大丈夫だと思

う。Q:延長保育についての値段はどうなるのか？「園との直接契約になるから区は関知しない」ということでは困る。

A:法外な値段にならないように気を付けて指導していく。

Q:園指定のものがあるのかどうかも見てきてもらいたい。公立だから指定がなかった。指定を嫌う人もいると思うし、それが有料の可能性もあると思う。

A:わかりました。

Q:布オムツ・紙オムツも審査の対象にありますか？

A:あります。

Q:障害児保育もよくよく見えて欲しい。

A:見えます。

Q:(園長に) 保育の部分についてこれで事足りてますか？

A:これで全部だとは思われない。あくまでも、たまたまという具合にとらえている。実際に見てきたら概要に添った報告+補足という形で報告する。

Q:B経費について区としてどう対応していくのか？

A:この件に関しては区長と相談中。ただ、B経費なくして経営が成り立つとは思えない。中野区が何らかの補助をしなくてはいけないのではないかと考えているが、B経費の件がどうなるかはつきりしない以上、事業者が募集要項を配布できないので前回「9月下旬に配布予定」と発言したが、10月にずれ込みそう。でも、事業者選定は1月末に行う。(3園同時選定の可能性大)

《大和北保育園》

大和北保育園事業者募集要項 説明後に質疑応答

Q:見学の機会など少ない中で、何をどのようにやってこのようなことを見るのか？書いてあるだけでは意味がないのでは。

A:国の第三者評価のチェック表など、とても準備中。保育計画など総合的に調べていく。

Q:食器については、区で使われているものは最低基準。これ以上ならクリアか？同等以上を望む。

Q:カフェテリア、戸外で食べるなどの工夫について。中野区では保健所より戸外で食べることは望ましくなどの指導がされ、矛盾しているのでは。

A:工夫の一環として載せている。

Q:現実には出来ないことをのせるのはおかしいのでは。

A:訂正する

おむつ、ふとんなど保護者の負担にならないよう話し合う合意を作る

引き継ぎについて
3園同じ年度に行う予定だが、時期については1つ1つ個別に慎重に対応していきたい。

《みなみ保育園》

9月2日、保育課より「みなみ保育園運営事業者選定基準(案)の概要」が全保護者に配布されました。

内容は、保育理念や保育内容、財政基盤や事業計画など、20項目程度にわたるチェックリストです。

この選定基準についての説明会は、9月20日(金曜日)に行われます。

保育園であったよこんなこと

高木 政枝

保育園生活6年目の夏「オヤッ!？」と思う出来事がありました。

8月の旧盆の期間は、毎年プールはお休み。その代わりに、泥んこ・色水で盛り上がったまま。「メロンジュースが出来てねー」「バケツでジャンジャカ水入れたんだよ。」と嬉しそうに話してくれる子どもの片手には、ズッシリと泥水を含んだ「お土産」洗濯物。白いはずの下着が茶色くて、ただただ驚くばかりでした。まっ、洗えばいいかーと思ってもコレが落ちません。石鹸をすり込みゴシゴシこするのが帰宅後の日課でした。

ところが、ある日のお土産が妙に軽いのです。広げてみると、Tシャツは乾いてパリンツとしてシミひとつありません。子どもに尋ねてみると「泡ブクでゴシゴシしてしたよ。」と言います。クラスの連絡用ホワイトボードには、「泥あそび後洗濯こつこをし

ました。」と記されていました。次の日も、その次の日も……。3歳クラスの子ですから、下着が全て変色するような遊び方はしないのでしようが、毎日綺麗になつて戻ってくる洋服に「面白くて調子に乗って擦っているんだろっ」な「ちよつとの汚れも一生懸命落としてるんだろっ」と微笑ましく、また内心助かったとも思っていました。

なぜ、こんなに洗濯こつこが流行ったのか? 園長先生とお話する機会があったので伺ってみました。園では泥あそび後、さつと水洗いし砂を落とすし持ち帰らせているのですが、洗濯が大変だという意見がありがち、それを先生方に伝えたところ「洗濯こつこ」になつたというのです。保育園では、泥んこになつても惜しくない洋服を着せる事にしていますが、そうは思っても汚いと懸命に洗ってしまいます。また、そうは言っても子ども

には通用しません。泥んこ用の洋服を用意しておいても、遊びの流れで着替えるタイミングを逃す事もあるでしょうし、新しい服・気に入った服で登園したがりです。子どもなりに知恵がつくと、汚れても良い服に自分から着替えて遊んだりもしましたが、それでも「お土産」が減るわけはありません。

この話をすると、ほとんどの方が「洋服が汚れたくらい・・・とおっしゃいますが、大切なのは保護者が保育園に対して意見を伝えることが出来る事」保育園側が「保護者の意見を真摯に受け止めた事」ではないでしょうか。野方北は延長保育実施園で、我が家の場合は帰宅すると19時30分をまわっています。食事をして、入浴して一緒に寝ないと身が持ちません。反対に仕事の少ない時期は16時にお迎えの毎日でした。さまざま状況下の、保護者の生活に心を寄せてくれている事を園長先生との話し合いで感じました。以前、父母連幹事の一人から聞かされた「私たちは、子どもの

代弁者ですが、大人です。から保護者の方の思いを受け止め折り合いをつけることが出来ます。」という先生の言葉を、今回実感しています。

わが「洗濯」息子は、世間のご多分にれず主張が強い。でも、言葉が足りません。「保育園の門の開閉をしたかった。」靴の履き替えを待っていて欲しかった。」と。いって、大爆発をします。

その朝のきつかけは何だったのか、忘れてしまいました。泣きながら足にしがみつくのを振り払いつつ支度をしていた。「あら絨ちゃん、どうしたの?」と主任の先生が声を掛けてくれました。保育室に入ると、担任の先生方は挨拶だけで何も言いません。汗びっしょりになつて仕度を終え、子どもをひざに乗せ話をして納得がいき笑顔で別れました。その日の連絡帳に「絨くんの朝の切り替え、すごいですね。さすがおかささん。自分ですつきり出来たのですね。」と記されてました。いえいえ、さす

がなのは先生方です。自分が納得すれば気分転換が素早くできるといふ子どもの性格と、子どもに納得して送り出して欲しいから時間に余裕を持つて登園している事・子どもとのやり取りにケリをつけた親の性格までも理解してくれているのです。2ヶ月ほどして、またも大爆発がありました。た。玄関で園長先生に「絨くん、この頃お兄さんになつたよね。」と言われピクンと反応したものの大泣きです。担任の先生は「その声は絨くんね。」とひと言。園長先生は、シート掛けが大変でしょうからと手を差し出してくれますが、しがみついてはなれません。抱いてシートを掛けながら、園長先生の心配そうな視線を感じます。仕度を終え話をし納得がいつた時には、園長先生の姿はありませんでした。

「メダカに餌をやつて頂戴。」って言つてたね、と事務所に行く園長先生がホーツと笑顔で迎えてくれました。

2度目の「大爆発」によつて漠然と感じていた担任の先生方の理解の深

さと、園長先生の見守りには、信頼関係の成立以上「保育士の専門性」という言葉が当てはまるのではないのでしょうか。

この夏の出来事から感じたのは「保育園、先生に對し働きかけ続ける」ということです。「大爆発」については2年、4年のお付き合いなので、日々の積み重ね(連絡帳や対面でのやり取り)の成果です。「泥あそび」は意見なのです。半年後、野方北は私立園となりますが、「保育園、先生に對して働きかけ続ける」ということが今以上に重要になります。子どもに良質の保育を、親子育ての力を、保育園に親のニーズを、それぞれの立場でより豊かな日々を送れるように、保育園生活を楽しみながら働きかけていきたいと思っています。

(このコーナーは会員の皆さまの保育園での出来事を中心に掲載していきたいと思つています。皆様からの投稿お待ちしております)

会員動向

2002年9月1日現在 団体会員数 3団体 個人会員数 21名

会員登録のご連絡が無い場合には、次号ニュースをお届けすることが出来ません。また、9月いっぱいでの会のメーリングリストのご利用も出来なくなります。また、会員登録がお済みでない方はお早めにお問い合わせください。なお、保育園の父母会が団体会員登録されている場合にはニュース、メーリングリスト共に引き続きご利用可能です。詳細はnhoiku@eqg.orgまでお問い合わせください。

メーリングリストの話題から

夏の間の共同保育と連絡帳

「急に夏の間共同保育にする。連絡帳は書かないと言われたんだけど・・・。」と不安のメール。いろいろな保育園から夏の間の保育についての報告がありました。

おおむね区立保育園の幼児クラスは、夏のプールの間は共同保育を行っているようです。

元のメールの方の保育園では園の方から幼児クラス用に夏の保育について詳しく説明したものを配ってくださって不安は解けたようです。

中野区内認可保育園 募集人員

中野区のホームページに「中野区認可保育園 募集人員」というページが出来ました。毎月1日

の募集人員が掲載されています (<http://www.city.nakano.tokyo.jp/2540/hoikuaki.html>)。

嬉しかったので、会としてお礼状を保育課に出しておきました。延長保育や産休明け保育の募集人員も入っていると更に嬉しいので、それらの情報の掲載をお願いしています。

東京都、社会福祉法人常勤職員への人件費補助廃止へ

新聞ニュースからの話題です。いわゆるB経費と言われるものです。

今回は「社会福祉法人運営の福祉施設への人件費をカットする方針について」は、結論を先送りした。同局は8月に社会福祉法人の代表者らとの懇談会を立ち上げ、補助金

について検討する。」となったようですが、別の方から「平成14年設立以降の新園（つまり中野の5カ年計画で民営化になる保育園）は、この人件費カットが前提になっています。」との報告も。

民営化対象園での説明会では保育課は「何らかの補助をしなくてはならないとは考えているがまだ未定」。ただ、どうするかはつきりしないことには事業者募集も出来ないとのことで予定がズレていくかもしれないとのことでした。

待機児

会員の方が個人で立ち上げた、中野区の待機児等に関するホームページ (<http://www.eqg.org/takin/>)の報告がありました。

それに関連して、「保育園を考えて産む時期を決めている」、「0歳時保

育の枠を広げないまま、産休明け保育が拡大していけば育児休暇なんかとっていらなくなる」、「産休明けで働くのは結構大変」、「満1歳になるまでは5時までしか預かってもらえず辛かった」、などといった話が出てきています。

その他に、墨田区の公立あおやぎ保育園父母会学習会報告、保育園を考える親の会の「公立保育園の民間委託・民営化を考える」勉強会への参加報告、民営化対象園の説明会報告、「区長と語る会」への参加報告などがありました。

（メーリングリストは会員の方であればどなたでも参加できます。個人会員でなくても保育園の父母会が団体会員として登録していれば参加可能です。メーリングリストに参加されたい方はnhoiku@eqg.orgまでご連絡ください）

中野区のホームページの中の保育関連情報

認可保育園空き情報

<http://www.city.nakano.tokyo.jp/2540/hoikuaki.html>

保育所入所基準の指数

<http://www.city.nakano.tokyo.jp/reiki/honbun/q6000086041404301.html#B1>

保育料

<http://www.city.nakano.tokyo.jp/reiki/honbun/q6000084041404301.html#B1>

父母会紹介 大和東保育園 九内理華

私達の大和東保育園は定員93名の大きな保育園です。高円寺駅から徒歩10分位の住宅街の中にあります。園庭も広く、わりと緑が多くて毎日子供たちが元気に遊ぶ姿がよく見えます。

この園の父母会は発足してからの歴史もかなり古く、殆どの父母の入会により運営されています。年会費は一世帯2000円です。5月第1回畑おこし(10月に第2回)、土曜日に自由参加というかたちで集まった父母らが園庭の畑の土をおこします(先生と子供たちは後日作物を植えます)。これを始めてから土もよくなり、子供たちは大喜びでとれた野菜のことをお話ししてくれます。6月、大和児童館にて顔合せ会。今年度は人形劇の方をお呼びして楽しみました。各クラスごとのゲームや(島とりなど)その後全員で昼食をとったり、後片づけもスムーズ!! その後のアンケート

調査をもとに行った反省会でも「楽しかった」というのが殆どでした。

そして今、11月10日大和児童館で実施予定の秋のバザーに向けて少しずつ準備をしています。クラス単位で担当を決めて、日用雑貨、子供服、手作りおもちゃ、食べ物等の販売を行います。親子の交流、親睦を第1として、楽しみながら父母会活動に必要な費用を捻出する目的で、これは父母会行事の中で最も大変ですが、最も父母同士の交流もさかになる機会でもあり、バザー当日は早朝から、かまど担当のお父さん方をはじめ、全員がなごやかなふんいきで楽しんで参加しています。収益の一部で図書券を購入し保育園に寄付したり、ユニセフに送ったり、有意義に使われています。お時間が許されるなら、ぜひ一度、みなさんもいらしてみたいかがですか!!

3月になると地域センターのホールで卒園児を送る会を行います。各クラスで準備、練習をしてきた出し物をみんなで楽しみます。コサージュを作ったり、プレゼントを用意したり、園とは別に卒園児を送ります。これで1年間の父母会としての活動が終わりです。年間通すとけっこう大変そうにもみえますが、イベントの際には殆どの父母、園児が参加するので活気があり、終わった時の達成感も大きくやりがいもあると思います。

ここ数年、中野区の保育園をとりまく状況にも少しずつ変化が現れ、今まであまり耳にしなかつたような話も聞かれるようになってきました。中野父母連と在園児の父母の間に入り情報を集め其れを公開すること。少しでも多くの父母たちに今の現状を理解して欲しい。子供たちの明るい未来のためには、私たちが考えねばならないこと、しな

ればならないこと、問題は山積みしています。が、少しづつ考えて進んでいけたらいいなあと思っています。

毎日、「いつてらっしゃい!」おかえりなさい! 素敵な笑顔で声をかけてくださる先生方(キレイな先生が多いです)。父母会活動の際、収穫を置かせていただいたり、父母会掲示板の設置、保護者会後、少しお時間をいただいたり(父母会のクラス単位での話し合い)。園長先生にも日頃から御理解をいただきコミュニケーションはバッチリとれています。

こんな素敵な保育園のためにも、みんなが協力しあってこれからはがんばっていきましょう。中野父母連の輪がもっともつと広がっていくよう応援しています。

会からの連絡

会からの連絡方法に少し混乱が生じていたので、幹事で少し整理してみました。

父母連では、今4つの手段で、皆さんに活動や連絡事項をお伝えしています。
1. 全体会 2. ニュース 3. ホームページ(Web) 4. メールングリスト(ML)

それぞれを会としてどう位置づけていくかについて幹事会で以下のように確認しました。

- ・基本的に、月に1回程度全体会をしているので、その間の動きは、その時に報告する。
- ・ニュースは、この会の活動の報告等、全会員に伝える手段である。
- ・ML・Webは、起こった事をいち早く伝える手段となる。

団体会員は、その団体の中の1名はMLに登録して頂いているようなので、急いで伝えたほうがよいと思う内容がございましたら、それぞれの団体の会員に伝えていただければと思います。

急に伝えるべき事ができた時は、名簿を利用し、郵送で、またそれぞれの担当から連絡させていただきます。